

第5回島根県高校生英語ディベート大会 3位入賞

10月 26日 (木)

12月に行われる全国高校生英語ディベート大会の県予選に、2チームが出場しました。益田高校から初参戦となる今大会には、2年生の有志からなる12名が参加しました。

論題は『 That Japan should significantly relax its immigration policies. 』
日本は、移民政策を大幅に緩和すべきである。是か非か。

この大会に出場するにあたり、約4か月かけて下調べと原稿作成をし、模擬練習を重ねて臨みました。その甲斐があり、2チーム中1チームが3位に入賞することができました！

大会当日は、全ての対戦においてジャッジからの確に議論過程にアドバイスをいただき、「相手やジャッジに主張が伝わる論理的な展開」を学ぶことができました。

英語ディベート大会への参加を通じて、英語力の向上や多面的な物事の見方など、日々の授業だけでは実感しきれない大切なことを経験しました。また、ディベート大会の醍醐味である“make friends”という目的も果たせました。

ディベートでは理解力・情報選択能力・伝達力・主体的な行動力・協調性など多くのものを身に付けられるとされています。来年度の大会にも、ぜひ出場したいと思います。

3位入賞したチームのリーダー 森本君のコメント

Although we had difficulty in debating in English about immigration policies, we have gradually come to like debating because we discovered new points of view about what is happening all over the world.

We learned many things through this debate tournament, which was a good opportunity for us, and we hope the 10th graders will also experience these exciting debate matches next year.

